

防災セミナー&体操

8月24日(月)に午前と午後に分けて体操の後、防災士吉安悦雄(町内会副会長)様による防災セミナーを開催しました。配布された防災ハンドブックそして防災士の実例を上げた詳しい説明に聞き入りました。



ハザードマップの説明・我が家の安全確認・停電・断水への備え食料備蓄・通信手段の確保そして隣近所との協力のあり方等々課題が沢山あり認識を新たにしました。

牛田東2丁目 宮野泰治

ここは早稲田のどこでしょう?

Part 4



Q1

坂道にある一産つても斜めにならないベンチ



Q2

おもちゃ病院わせた



開院: 毎月第3土曜日

早稲田公民館

ボランティア募集!

平成28年5月に開院以来、ボランティア活動で壊れたおもちゃをよみがえらせることを通して、物を大切に、やさしい心を育てる手助けができればと、謎解きのような珍しいおもちゃに悩ませられながらも頑張っています。プラレール、メロディーキーボード、クレーンゲーム、縫いぐるみの犬のような定番のおもちゃ以外に、最近では話相手をしてくれる人形の修理など、高齢の方のご依頼もあり、衰えかけた頭に刺激を受けながら、治った時の皆さんの笑顔に癒されています。

現在、早稲田学区内のスタッフが少ないため、他のおもちゃ病院の方々の応援で成り立っている状態で、「童心に戻っておもちゃに触れてみよう」「いきなり修理は無理だけど電池交換ぐらいから」など、興味のある方は気軽に見学においでください。経験・技術の有無や、年齢・性別は問いません。認知症予防に役立っているかも?



牛田東2丁目 大地雅彰

ここでした



A1

早稲田第4公園



A2

女学院大学前
バス停

〜牛田山〜歩きつくそう、知りつくそう〜

牛田山は標高261mとそんなに高くない山で初心者向きと言えます。地元早稲田からはもちろん、東区内の牛田、牛田新町、戸坂、中山、尾長、二葉の里からの登山口が多くあり、また隣接する二葉山、尾長山、神田山、見立山と組み合わせ、無数にコース設定が出来ます。自然が多く残る故郷の山をゆっくり歩いて木々や草花を見て楽しみ、新緑の匂いを嗅ぎ、鳥のさえずりを聞きながら登り牛田山のすばらしさを再発見してみませんか?

会員は現在24人で女性も10人います。毎回平均15人前後の参加があります。初心者にも登りやすく、安心してハイキング出来る様、毎月コースを考えています。活動は基本毎月第4水曜日、年に1度は遠征も考えています。これまで2回宮島の弥山に登りました。牛田山ハイキングクラブは「高齢者いきいき活動ポイント事業」活動団体です。【ブログ「牛田山ハイキングクラブ」】チラシは早稲田公民館に置いてあります。皆さん、ご参加お待ちしております。

牛田山ハイキングクラブ 代表 早稲田2丁目 吉岡宏明



わせた 社協だより

第174号



早稲田社協
ホームページ

こむねっとひろしま

検索

地域ポータルサイト こむねっとひろしま

東区 早稲田学区

2020.10

(令和2年10月)

発行部数 3000部



スマホの方は
こちらのQRコードでもご覧いただけます♪
<https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/02waseda/>

<編集・発行>早稲田学区社会福祉協議会 〒732-0063 広島市東区牛田東二丁目12-23 早稲田集会所2F TEL082-225-3685



水引で花火を作ったよ!!

早稲田公民館 藤村寿子

8月21日、折形礼法師範の山下真理子さんを講師に、水引で花火を作りました。小学生7人が参加し、墨で黒く塗った色紙(しきし)に様々な色の水引をボンドで貼っていきます。まず初めに、花火をどのような構図にするか考えます。次に、準備された水引の中からどの色を使うか考えます。この色とこの色を合わせたらもっときれいかもしれない、やっぱりこっちの色がいい。決まった水引を思うように色紙に貼ります。しばらく考えている子、すぐに作り始める子など、それぞれの水引アートがスタートしました。

完成した水引の花火は、一人一人それぞれの良さがあり、個性豊かな作品になりました。参加した小学生からは「切ったり貼ったりするのが楽しかった」「水引の色を選ぶのが楽しかった」「難しかったけど楽しかった」「もっとやりたかった」など、楽しそうな声が聞かれました。



公民館展示 9/13日まで



早稲田4丁目ラジオ体操



早稲田3丁目ラジオ体操

短かった夏休み...

8月3日に早稲田小学校の代表として、岡澤さんと東さんと私で牛田地区原爆死没者追悼式典に参加し、平和への祈りをこめて全校児童で折った「折り鶴」を奉納しました。例年より参加者を少なくして行われたので、私は今回参加できなかった人の分まで平和についてしっかり考えたいと思いました。

原爆死没者追悼式典



式典の中で様々な方のお話を聞き、私がこれまであまり知らなかった牛田地区の原子爆弾による被害について学ぶことができ、また平和に対する想いを新たにすることができました。今回、牛田慰霊祭に参加して学んだことを学校のみならずにも伝えていきたいです。

早稲田小6年 佐々木穂香

今回、牛田公園で行われた慰霊祭に参加させていただき、改めて8月6日という日は広島に住む私たちにとって平和を願う大切な日だと感じることができました。牛田地区でも、原爆の被害は大きく住民の約半数が死傷したそうです。慰霊祭が行われた牛田公園では当時たくさんのご遺体が毎日のように焼かれていたという話も聞きました。今の広島、またこの牛田の町からは想像もできない光景であり、そのような事実を知らない人は私を含めてたくさんいると思います。

県外に住んでいると8月6日と聞いてもあまりピンとこず、原爆について知らない人がたくさんいます。被爆者の方の平均年齢が83歳を越えた今、これまで被爆者の方が語ってくれたことを私たちが次の世代へと語りついでいかななくてはならないのだと思いました。今後二度とこのようなことがあってほしくない、あってはならないと強く感じました。この広島に住む人間としての自覚をもって生活していきたいです。

早稲田中3年 高尾真央